

目録 List

鳥取県・島根県の動物相に関する
文献目録 第6集 (2014年)鶴崎展巨¹・淀江賢一郎²¹〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学地域学部生物学研究室

E-mail: ntsuru@rs.tottori-u.ac.jp

²〒690-0862 松江市比津が丘2-1-7

E-mail: shimane@sc4.so-net.ne.jp

¹ Nobuo TSURUSAKI and ² Ken-ichiro YODOE (¹ Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan; ² Hizugaoka 2-1-7, Matsue, 690-0862 Japan): **Bibliography concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures, Honshu, Japan. No. 6 (2014).**

キーワード — 島根県, 鳥取県, 動物相, 記録, 文献目録

Abstract — This bibliography lists literature concerning fauna of the San'in District (Tottori and Shimane Prefectures) published in 2014. Some articles published before 2014 may be also included when they have not been covered in the previous bibliographical series.

Key words — bibliography, fauna, faunal records, Tottori Prefecture, Shimane Prefecture, San'in District

鳥取県と島根県の動物相に関して2014年に出版された文献のリストである(前報までに掲載もれの2013年以前の文献も含む)。最後に付録として、両県内をタイプ産地として記載された動物のリストを掲げる(今回は島根県からの1種のみ)。

文献入手または文献情報収集等にご助力をいただいた有田 斉・林 成多・川上 靖・中村慎吾・大高明史・田村昭夫・山田 勝の諸氏に御礼申し上げる。

凡 例

採録範囲は、おもに鳥取県・島根県内の陸上域(沿岸の海域を含む)に生息する動物に関する記録を含む文献であるが、本県に密接な関係があると思われるものは県外のものも対象としている。配布範囲が狭いなどで、最初から正式公表を目的としたとは考えにくい記事(観察会で配布されるプリント、内部的報告書、大学のサークル・学校のクラブ

等の部内機関誌に掲載されたもの)も原則として扱わない。

鳥取県内での初記録など動物相解明の点でとくに必要と思われるものを別として、短報やそれに類した簡略化された記録(野鳥の出現情報など)も、積極的には拾っていない。

配列は分類群ごとの(総合/哺乳類/鳥類/両生類/爬虫類/魚類/昆虫:総合/昆虫:トンボ類/昆虫:直翅系/昆虫:半翅目/昆虫:鞘翅目/昆虫:双翅目/ヘビトンボ目/昆虫:膜翅目/昆虫:鱗翅類/クモガタ類/甲殻類/軟体動物/環形動物/その他の海産無脊椎動物), 著者のアルファベット順である。どちらの県に関係するかは、個々の文献の末尾に角かっこ([])内に記す。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。

NT = 鶴崎展巨, KY = 淀江賢一郎.

【総 合】

林 成多(2014) 島根県出雲市のため池に生息する水生生物. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 153-190. / 出雲市内のため池17地点でも水生生物の調査結果報告。水生無脊椎動物108種, 水生脊椎動物23種を記録。コガタノゲンゴロウなどの希少種は28種, 外来種9種。二枚貝はマシジミのみ(イシガイ類はいない)。[島根]

北村憲二(2014) 島根大学名誉教授 三浦 正先生を偲ぶ. 中国昆虫, No. 27, pp. 41-42. / 島根大学農学部で昆虫学教室を主宰されていた三浦正島根大学名誉教授の追悼記事。[島根]

清末忠人・清末幸久(2014) 国立公園 鳥取砂丘の生きもの. 今井書店鳥取出版企画室(鳥取市) 149 pp. 1800円. ISBN: 978-4-907468-05-70. [鳥取]

前田泰生(2014) 三浦 正先生の回想. 中国昆虫, No. 27, pp. 43-44. / 島根大学農学部で昆虫学教室を主宰されていた三浦正島根大学名誉教授の追悼記事。[島根]

森 茂晃・林 成多・三浦憲人(編)(2014) ふるさと尺の内公園開園20周年記念 ふるさと尺の内公園の自然誌. 公益財団法人ホシザキグリーン財団・ホシザキ野生生物研究所, No. 10, pp. 45-89. / 雲南市木次町のふるさと尺の内公園の動植物相の紹介。ふつうに見られる代表的な種についてすべてカラー写真と解説で紹介している。また、全種リストはうしろにまとめて掲載。[島根]

尾原和夫(2014)「一体だれがやる」— 隠岐島(島根県)での佐藤井岐雄博士の言葉. 山陰自然史研究, No. 10, pp. 45-46. / 日本産サンショウウオの分類やクモ形類の細胞学で活躍したが原爆で亡くなられた広島文理大学の佐藤井岐雄博士の隠岐調査の際のエピソードを資料から発掘したもの。[島根]

しまね自然と環境財団・ホシザキグリーン財団(編) 島根県環境生活部景観自然課(監修)(2014)改訂 しまねレッドデータブック2014動物編. ~島根県の絶滅のおそれのある野生動物~. 島根県環境生活部自然環境課(財)ホシザキグリーン財団. 318 pp. ISBN: 978-4-9906997-1-0. [島根]

鳥取自然保護の会会報編集部(2014)湖山池の生態系激変問題. 鳥取自然保護の会会報, No. 43, p. 3. / 2012年3月の汽水化事業により3年連続で湖山池の伝統漁である石ガマ漁が中止になっている。その事情に詳しい三津地区の田中正雄氏へのインタビュー。[鳥取]

鶴崎展巨・淀江賢一郎(2014)鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第5集(2013年). 山陰自然史研究, No. 10, pp. 33-44. [鳥取・島根]

【哺乳類】

野津幸夫(2014)大山(鳥取県)で観察したコウモリ類2種. 山陰自然史研究, No. 10, pp. 29-30. / 江府町文珠谷でのキクガシラコウモリと江府町鍵掛峠でのコテングコウモリの記録。[鳥取]

小林朋道(2014)巣箱利用から見た鳥取県芦津溪谷におけるニホンモモンガ、ヤマネ、ヒメネズミの生息場所選択性. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 1-6. / 鳥取県智頭町芦津溪谷の森林で2009-2013年に巣箱を異なる高さに設置して調べた小型哺乳類の生息場所選好性の調査結果。[鳥取]

【鳥類】

國本洗紀・川田理恵子(2014)鳥取県中部地区におけるホシムクドリ(2014)の記録. 山陰自然史研究, No. 10, p. 31. / 北栄町東新田場で2014.1.23に撮影された迷鳥ホシムクドリについての報告。[鳥取]

NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部(2014)鳥取県鳥類目録. NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部, 59 pp. / 鳥取県農林水産部造林課(1980)「鳥取県の野鳥」以来のまとまった鳥取県産鳥類目録. 21目67科178属378種, 外来種11種を掲載。[鳥取]

【両生類・爬虫類】

藤田宏之・寺岡誠二(2014)鳥取県日南町におけるニホンヒキガエル産卵地の一例. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 293-296. / 鳥取県日南町上萩山地区でのニホンヒキガエル産卵地の記録。[鳥取]

中野浩史(2014)島根県浜田市西村町で確認された尾が赤い

トノサマガエルの幼生. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 334. [島根]

高橋 宏(2014)鳥取県若桜町氷ノ山で日中に活動するヒダサンショウウオを確認. 山陰自然史研究, No. 10, p. 32. [鳥取]

寺岡誠二(2014)出雲市で発見された過剰枝のヤマアカガエル幼生. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 311-313. / 出雲市佐田町大呂のため池で見つかった過剰枝のヤマアカガエル幼生。[島根]

寺岡誠二(2014)双尾のニホンカナヘビ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 314. / 米子市宗像で双尾のニホンカナヘビ(2013.5.26)。[鳥取]

寺岡誠二(2014)背に異常肢が生えたシュレーゲルアオガエル. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 338. / 大田市朝山町で見つかった個体。[島根]

山田 勝(2014)鳥取県東伯郡三朝町でナガレタゴガエルを確認. しぜんくらしき, No. 90, p. 7. / 2013年11月27日, 三朝町内の溪流で1個体確認。詳しい地名は書かれていない。[鳥取]

山田 勝(2014)鳥取県八頭郡智頭町でタカチホヘビを確認. しぜんくらしき, No. 90, p. 8. / 2014年7月12日, 智頭町域内のスギ林内ガレ場(標高320 m)で1個体採捕。詳しい地名は書かれていない。[鳥取]

山田 勝(2014)鳥取県八頭郡智頭町でナガレタゴガエルを確認. しぜんくらしき, No. 90, p. 7. / 2013年11月9日, 智頭町内の山間溪流で7個体(5♂2♀)確認。詳しい地名は書かれていない。[鳥取]

【魚類】

一澤 圭・林 耕介・小笠原敦子・田島木綿子・上野真太郎・石原 孝・川上 靖・山田 格(2014)鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物(2012年~2013年)ー鯨類, 鰭脚類, ウミガメ類, およびアカマンボウ目魚類についてー. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 43-58. / 2012-2013年に鳥取県立博物館が確認した鳥取県と近隣地域の沿岸の漂着・迷入の海洋動物の記録。[鳥取]

曾我部共生・八幡浩二(2014)隠岐島後におけるオオクチバスの生息状況および推定生息数. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 191-196. / オオクチバスは隠岐には1994年に導入された。隠岐島後35池と3ダム貯水池を調査し, 3池と1ダム貯水池でオオクチバスの生息を確認。マーク個体の再捕獲により個体群密度を1平方メートルあたり0.0026-0.0216個体と推定。この密度は芦ノ湖などと同レベルとのこと。[島根]

辻井要介(2014)島根県出雲市の河川におけるカワアナゴ稚魚の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p.

310. / 出雲市大社町堀川下流でのカワアナゴの記録
[島根]

辻井要介・辻井志貴子 (2014) 島根県の河川におけるクロホシマンジュウダイ稚魚の初記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 307-309. / 出雲市堀川でのクロホシマンジュウダイの稚魚の記録. [島根]

和田年史・長田信人・原口展子・宇野政美 (2014) 鳥取県東部の砂浜海岸サーフゾーンにおける魚類および海産無脊椎動物の出現記録. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 23-41. / 2008-2013年に鳥取県東部の砂浜海岸サーフゾーンでおこなった地引き網調査で確認された42科58種の魚類と35科49種の海産無脊椎動物の記録. [鳥取]

和田年史・原口展子・山崎英治 (2014) 日本海南西部鳥取県浦富海岸における浅海魚類相および出現種の季節的消長. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 43-58. / 2006-2013年に鳥取県東部浦富海岸での潜水・採集で確認された66科146種の魚類の記録. 各種のカラー写真つき. [鳥取]

【昆虫類(総合)】

林 成多・松田隆嗣 (2014) 島根県出雲市の海岸砂丘に生息する昆虫類の目録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 263-284. / 出雲市の海岸砂丘の昆虫の総目録. 373種を記録. うち16種は島根県レッドリストの掲載種. 注目種のひとつとして日本ではこれまで兵庫県で記録されているのみのホテイコミズムシについて詳述. [島根]

林 成多 (2014) 島根県出雲市園町宍道湖グリーンパークの昆虫目録 (2014年). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 12, pp. 55-104. / 島根県出雲市園町宍道湖グリーンパークでこれまでに確認された昆虫12目949種のリスト. 環境省レッドリスト掲載種10種, 島根県版レッドリスト掲載種10種を含む. 外来種は23種. 代表的な昆虫の生態写真が多数掲載されている. [島根]

林 成多・片岡大輔・中原ゆうじ (2014) 島根県出雲市園町宍道湖グリーンパークにおける昆虫類・クモ類生息調査 (2013年). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 12, pp. 1-54. / 島根県出雲市園町宍道湖グリーンパークでの2013年の昆虫とクモの調査. クモは23科91種, 昆虫は155科525種を記録. うちクモ8種と昆虫329種は当公園からは初記録. [島根]

【昆虫:トンボ目】

林 成多 (2014) 隠岐島後のチョウトンボの記録 (2004年). すかしば, No. 61, pp. 30-31. / 島後で1966年の記録以後, はじめて確認されたチョウトンボの記録 (2004.6.7). [島根]

野津幸夫 (2014) “カシナガ粘着トラップ”シートで観察された興味ある昆虫. ゆらぎあ, No. 32, pp. 49-60. / 大山横手道に設置されていたカシノナガキクイムシの粘着トラップについていた昆虫を同定. 2014年5月31日~9月21日. 多種の昆虫が同定されており興味深い. [鳥取]

野津幸夫 (2014) 瓜菜沢放牧場のトンボ類. ゆらぎあ, No. 32, pp. 80-81. / 江府町瓜菜沢放牧場の水路と湿地のトンボ11種. すべて2014年記録. [鳥取]

祖田 周・大浜祥治 (2014) 2012-2013年. 島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, No. 61, p. 29. / タイリクアキアカネ (隠岐, 西の島町浦郷), オナガアカネ (松江市, 安来市) の記録. [島根]

鶴崎展巨・鶴崎紗礼 (2014) 2010年夏の湖山池とその周辺のトンボ類の記録. すかしば, No. 61, pp. 25-28. / 鳥取県湖山池と周辺での2010年8月のトンボの記録. 2012年3月に湖山池水門が開放されてから塩分が2012年夏には海水の1/3を超え, 湖山池本体から出現するトンボはゼロとなった. 2010年8月にはわずか2日間の採集で8種を記録. この数は, 2014年に年間をとおして湖山池 (福井の淡水池を含む) で確認された種数合計と同じである. [鳥取]

大浜祥治・長瀬 翔 (2014) 宍道湖グリーンパークのトンボ相調査 (2012年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 342. / 2012年6月から11月までの出雲市宍道湖グリーンパークでのトンボ相. 17種を確認. [島根]

【昆虫:直翅系】

林 成多 (2014) アカマツの葉で脱皮するツチイナゴの観察例. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 146. / 出雲市一の谷公園でクズなどの葉を食べるツチイナゴがアカマツの葉の間で脱皮していることの報告. 脱皮中の防衛の意味があることを示唆. [島根]

林 成多・大浜祥治 (2014) 島根県に生息する直翅目の目録と生態写真集. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 11, pp. 1-90. / 島根県の直翅目16科115種の目録. ほとんどの種について生態写真をすべてカラーで掲載. [島根]

中野浩史 (2014) 島根県出雲市灘分町の斐伊川河川敷でカキリを確認. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 152. / 出雲市灘分町 (2010.10.2) [島根]

田村昭夫(2014)キスジゴキブリとヤマトゴキブリを三朝町で採集. ゆらぎあ, No. 32, pp. 62-63. / 鳥取県新記録のキスジゴキブリと記録の少ないヤマトゴキブリの三朝町三朝高原からの記録. ナラガシワの樹液にきていたとのこと。[鳥取]

田村昭夫・内野嗣昭(2014)倉吉博物館 平成26年度倉吉博物館講座⑦バッタと遊ぼう!! ~バッタ釣をしようII~, ゆらぎあ, No. 32, pp. 67-68. [鳥取]

田村昭夫・矢田敏子・安藤朋絵(2014)バッタ取りから名前調べへ~1年生だってできる(もん!)~. ゆらぎあ No. 32, pp. 69-75. [鳥取]

【昆虫:半翅目】

小林佳崇(2014)氷ノ山(鳥取県若桜町)からのイネゴセミタケ *Cordyceps inegoensis* (Kobayashi)の採集記録. 山陰自然史研究, No. 10, p. 34. / エゾゼミ幼虫から発生したイネゴセミタケの記録. イネゴセミタケはこれまで本州では長野県以北でしか確認されていなかった種だそう。[鳥取]

野津幸夫・中野一成・田村昭夫(2014)鳥取県に侵入したキマダラカメムシ—伯耆溝口駅で採集. ゆらぎあ, No. 32, pp. 46-49. / 外来種キマダラカメムシの鳥取県からの初記録. 伯耆溝口駅(30個体以上発見, 2014.9.13)。[鳥取]

田中宏卓(2014)島根県出雲市宍道湖グリーンパークで採集されたカイガラムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 327-333. / 6科22種のカイガラムシの記録。[島根]

吉富博之(2014)島根県のアブラムシ2. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 297-305. / 2013年の島根県における現地調査での66種の記録。[島根]

【昆虫:鞘翅目】

藤谷美文(2014)島根県のタマキノコムシ科甲虫. すずむし, No. 149, pp. 36-39. / 林成多氏管理標本にもとづき島根県産のタマキノコムシ科甲虫20種を同定記録. うち9種は島根県新記録であったよう。[島根]

林 成多(2014)ダンダラテントウの分布北上とそれに関わる気候要因. 昆虫と自然, 49(13): 29-31. / ダンダラテントウの分布域の北上についての総説. 本種の分布北限は, 冬季の最低気温よりも年平均気温15℃の等温線とよく一致すること. 1940-1959年までに分布が確認された地点の一つとして鳥取県にプロットが見える。[鳥取]

林 成多(2014)島根県におけるホウキセスジジョウカイ

Lycocerus hokiensis Okushima (コウチュウ目ジョウカイボン科)の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 15-18. / 鳥取県南部町をタイプ産地として2005年に記載されたホウキセスジジョウカイの島根県東部での分布調査の結果, よく似たヒメジョウカイも確認されているが, 混棲は確認されていないとのこと。[島根]

林 成多・奥島雄一(2012)鳥取県辰巳峠の上部中新統から産出したヒメドロムシ亜科の化石(コウチュウ目, ヒメドロムシ科). 倉敷市立自然史博物館研究報告, No. 27, pp. 5-7. / 鳥取市佐治町辰巳峠産の昆虫化石資料(天然記念物指定以前に採取され倉敷市立自然史博物館に寄贈された733点の資料)中から見いだされたヒメドロムシ科ヒメドロムシ亜科の甲虫の報告。[鳥取]

國本洗紀(2014)コガタノゲンゴロウの生態(その7) —腹面の色調の変異について—. ゆらぎあ, No. 32, pp. 5-7. / コガタノゲンゴロウの腹面の色には黒から赤まで変異が大きい. 変異幅を5段階にわけて比率を調べた. 比率に雌雄差, 年による差はなかった。[鳥取]

Jäch, M. A. & Delgado, J. A. (2014) Revision of the Palearctic species of the genus *Ochthebius* Leach XXIX. The Asian species of the *O. vandykei* group (Coleoptera: Hydraenidae). Koleopterologische Rundschau, 84: 81-100 / 海岸生息の甲虫であるクロコブセスジダルマガムシ(ガムシ科)の再検討が行われ, 日本産種は交尾器形態の差により, 分布域の異なる7種(うち6種は新種)として認識された. 6新種のうち1種 *Ochthebius* (s. str.) *hayashii* は島根県固有(現在のところ). タイプ産地は出雲市坂浦町坂浦の岩礁海岸. 体長1.8 mm内外. 日本産の海岸性甲虫でこのように地理的分化がみられるのは他にイワハママシくらいしかないとのこと(林成多氏私信). 磯場に生息する種で波に流されたりしないで, 地理的に分化しているというのは不思議である。[島根]

中臣謙太郎(2014)伯耆大山など鳥取のオサムシ. ゆらぎあ, No. 32, p. 65. / 黒尾峠での1960年と大山(年が書かれていない)のオサムシの採集エッセイ. 具体的な記録は書かれていない。[鳥取]

野津幸夫(2014)ホソセスジムシを大山でブナ朽木から採集. ゆらぎあ, No. 32, p. 80. / 大山三ノ沢の朽木内からホソセスジムシ(2014.5.4) [鳥取]

野津幸夫(2014)鳥取県のコガネムシ科の文献記録追加・訂正および補説. ゆらぎあ, No. 32, p. 18. / ケブカマグソコガネとオオキイロコガネのそれぞれ1文献の追加。[鳥取]

野津幸夫(2014)日南町の湿地で採集したネクイハムシ類と数種の甲虫. ゆらぎあ, No. 32, pp. 8-18. / 日南町7カ所

と日野町1カ所の湿地での甲虫類の調査。クロガネネクイハムシ、キンイロネクイハムシ、キヌツヤミズクサハムシ(スゲハムシ)、ホウキセスジジョウカイ、鳥取県新記録と考えられるクロスチャイロテントウなど。[鳥取]

Ono, H. & Maruyama, M. (2014) Five new species of the intertidal genus *Halorhadinus* Sawada, 1971 (Coleoptera, Staphylinidae, Aleocharinae) from Japan. *ESAKIA*, (54): 41-50. / イソハネカクシ属5新種の記載。島根県で以前に, *Halorhadinus aequalis* クロイソハネカクシとして記載された種は誤同定で, 新種 *Halorhadinus masakazui* Ono & Maruyama 2014 ウスチャイソハネカクシとして記載された。タイプ産地は大分県。他にワカサイソハネカクシ *H. inaequalis* Sawada 1971とウマズライソハネカクシ *H. sawadai* Maruyama & Hayashi 2009が分布地図で島根県内のプロットが見える。[島根]

山地 治 (2014) 鳥取県でタテスジヒメヒゲナガハナノミを採集。すずむし, No. 149, p. 46. / 鳥取市佐治町辰巳峠でのタテスジヒメヒゲナガハナノミの記録(2013.6.9)。オオメホソチビドロムシも同時に採集。[鳥取]

【昆虫:双翅目】

Yukawa, J., Tokuda, M., Yamagishi, K. (2014) Host plant ranges and distribution records of identified and unidentified species of the genus *Lasioptera* (Diptera: Cecidomyiida) in Japan. *Esakia*, No. 54, pp. 1-15. / イノコズチフシマルズイフシ *Lasioptera achyranthii* Shinji 1939の記録に出雲市多岐, Kubotaが見える。[島根]

【昆虫:ヘビトンボ目】

林 成多 (2014) 島根県産ヘビトンボ目の分布記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 135-145. / 島根県からヘビトンボ目5種を報告。うち3種は隠岐諸島にも生息。全種の島根県での既知分布図を掲載。[島根]

【昆虫:膜翅目】

Ito, M. & Maeto, K. (2014) Revision of the genus *Yamatarotes* Uchida (Hymenoptera: Ichneumonidae: Acaemotomae) from Japan, based on morphological and molecular evidence. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 20: 107-113. / *Yamatarotes chishimensis* (Uchida 1929)の検討標本に鳥取県大山の標本

(1978.6.24)。[鳥取]

前田泰生 (2014) 狭食性種, ホオナガヒメハナバチの花資源植物。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 55-57. / ホオナガヒメハナバチの訪花植物として, タニウツギ属が知られていたが, ツクバネウツギ属のツクバネウツギでの訪花を確認。松江市大平山など島根県の海岸部ではもっぱらツクバネウツギを資源として利用している。ツクバネウツギ利用の個体はタニウツギ利用の個体よりも小型。観察地として鳥取県大山香取も出ている。[鳥取・島根]

宮永龍一・石田善彦・北条竜也・吉田紗希・ラダ デブコタ アディカリ (2014) 鳥取砂丘のハマゴウ群落におけるキヌゲハキリバチの花資源の利用様式。中国昆虫, No. 27, pp. 27-39. / 鳥取砂丘の海岸に近い砂丘地のハマゴウ群落に訪花するキヌゲハキリバチの資源利用の様式の調査。ハマゴウの新しい花の開花は午前10時から11時の間にあった。ほとんどの花は翌日の午前中までには落ちた。花粉は開花直後に放出されるが, 花蜜分泌は午前中は低かった。花蜜分泌は夕方にピークになった。ハマゴウには21種の膜翅目昆虫が訪花したがキヌゲハキリバチが花粉の主要媒介者と考えられた。花粉採取のピークは正午頃, 花蜜摂取は午前中と夕方にもっとも多かった。ハマゴウが開花していない午前中にはキヌゲハキリバチはネコノシタに訪花していた。[鳥取]

田村昭夫 (2014) モンスズメバチを三朝町で採集。ゆらぎあ, No. 32, p. 81. / 三朝町三朝高原からのモンスズメバチ (2014.4.18)。鳥取県では3例目とか。[鳥取]

【昆虫:鱗翅目】

有田 齊・前田善広 (2012) 珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース(1) シジミチョウ科① 36 pp. NRC出版. / このシリーズは有田, 前田両氏のコレクションを標本写真付きで詳細なデータを付したものの。第1巻はウラキンシジミ, アイノミドリシジミ, メスアカミドリシジミ, ヒサマツミドリシジミの4種およそ2500個体。著者の一人, 有田齊氏は鳥取市出身で, そのため鳥取県産の標本が多く収載されている。ウラキンシジミ:鳥取市久松山, 雁金山, 岩倉, 鳥取県大山。アイノミドリシジミ:鳥取県溝口町, 江府町, 若桜町, 大山町, 佐治村, 国府町, 智頭町, 島根県旭町, 仁多町。メスアカミドリシジミ:鳥取県若桜町, 日南町, 溝口町, 国府町, 智頭町, 島根県仁多町, 横田町, 柿木村。ヒサマツミドリシジミ:鳥取県大山, 佐治村, 八東町, 若桜町, 郡家町, 久松山, 島根県仁多町など。[鳥取・島根]

有田 齊・前田善広 (2013) 珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース(2) シジミチョウ科② 40 pp.

- NRC出版. /第2巻は, ミドリシジミ, キリシマミドリシジミ, フジミドリシジミ, ウラジロミドリシジミ, クロミドリシジミ, ジョウザンミドリシジミ, オオミドリシジミ, ハヤシミドリシジミ, エゾミドリシジミ, ヒロオビミドリシジミの10種およそ2500個体。キリシマミドリシジミ:鳥取県用瀬町, 三朝町, 鹿野町, 八東町, 鳥取市, 赤崎町, 溝口町, 島根県隠岐。フジミドリシジミ:鳥取県国府町, 河原町, 大山町, 島根県匹見町, 旭町。ウラジロミドリシジミ:鳥取県福部村, 鳥取市, 国府町, 三朝町, 島根県隠岐。クロミドリシジミ:鳥取県大田市。ジョウザンミドリシジミ:鳥取県溝口町, 江府町, 郡家町。ハヤシミドリシジミ:鳥取県三朝町, 溝口町。エゾミドリシジミ:鳥取県溝口町, 大山町, 島根県隠岐。ヒロオビミドリシジミ:鳥取県国府町, 日野町, 鳥取市など。[鳥取・島根]
- 有田 齊・前田善広(2013)珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース(5) シジミチョウ科④ 36 pp. NRC出版. /ウラゴマダラシジミ:鳥取市小西谷, 岩倉, 国府町, 鳥取県福部村, 船岡町, 澁江町, 西伯町, 米子市, 岸本町, 島根県三隅町, 浜田市, 伯太町, 津和野町, 隠岐諸島(島後, 中ノ島, 西ノ島, 知夫里島)。[鳥取・島根]
- 有田 齊・前田善広(2013)珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース(6) シジミチョウ科⑤ 40 pp. NRC出版. /チョウセンアカシジミ, アカシジミ, キタアカシジミ, ムモンアカシジミ, ウラナミアカシジミ, ミズイロオナガシジミ, ウスイロオナガシジミ, オナガシジミ, ウラクロシジミ, ウラミスジシジミの11種のほか樺太, 東南アジア産の代表種を紹介。アカシジミ:鳥取市, ウラナミアカシジミ:鳥取県鳥取市小西谷, 岩倉, 郡家町, ミズイロオナガシジミ:鳥取県久松山, 島根県隠岐, ウスイロオナガシジミ:鳥取県三朝町, 大山町, 福部村, 船岡町, オナガシジミ:鳥取県八東町, 鹿野町, 溝口町, 郡家町, 島根県掛合町, 隠岐, ウラクロシジミ:鳥取市, ウラミスジシジミ:鳥取県岩倉, 雁金山, 小西谷, 国府町, 福部村, 三朝町, 久松山, 溝口町など。[鳥取・島根]
- 有田 齊・前田善広(2014)珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース(7) アゲハチョウ科② 64 pp. NRC出版. /西日本のギフチョウ。鳥取県から岩美町, 国府町, 郡家町, 船岡町, 河原町, 気高町, 鳥取市, 鹿野町, 青谷町, 東郷町, 三朝町, 倉吉市, 北条町, 大栄町, 東伯町, 赤崎町, 米子市, 会見町, 西伯町, 大山町, 岸本町, 江府町, 日南町の計75個体。島根県から安来市, 伯太町, 広瀬町, 東出雲町, 八雲村, 木次町, 斐川町, 三刀屋町, 大田市, 温泉津町, 赤来町, 大和村, 石見町, 桜江町, 浜田市, 三隅町, 柿木村, 津和野町の計30個体の実物大写真と詳細なデータがあげられている。また, マルギフ(岩美町), H型ギフ(鳥取市洞谷), 白ギフ(大田市)などの異常型も紹介されている。[鳥取・島根]
- 生田 敬(2014)ヒメシジミとシルビアシジミの斑紋異常。ゆらぎあ, No. 32, p. 78. /松江市島根町桂島のシルビアシジミ(2013.10.1)と鳥取県日野郡江府町御机のヒメシジミ(2014.4.23)の記録。[鳥取・島根]
- 生田 敬(2014)大山周辺のキバネセセリ。ゆらぎあ, No. 32, p. 4. /鳥取県からの久しぶりのキバネセセリの記録:伯耆町福永原(2014.6.22, ♂に羽化した1幼虫; 2014.6.30, ♂に羽化した1幼虫);伯耆町大内(2014.6.29, ♂に羽化した幼虫; 2014.9.2, 1 ♂2♀に羽化した幼虫)。大山町飯戸(2014.7.8, ♀に羽化した1幼虫)。著者は鳥取県では初めての採集とのこと。[鳥取]
- 板垣 治(2014)クロマダラソテツシジミ鳥取県に初飛来。すかしば, No. 61, p. 9. /米子市富益町でのクロマダラソテツシジミの2013年の記録。それより東部の倉吉市や湯梨浜町のソテツでも探索したが, そちらでは見つからず。[鳥取]
- 清末忠人(2014)銀色のキンモンガ鳥取県に産す。ゆらぎあ, No. 32, p. 78. /黒地に銀色斑紋のキンモンガの鳥取市からの記録。[鳥取]
- 松田隆嗣(2014)島根県におけるキスジウスキョトウの記録。すかしば, No. 61, p. 16. /環境省レッドリストで準絶滅危惧の湿地性のガ, キスジウスキョトウの松江市での記録。[島根]
- 松田裕一(2014)クロコノマチョウを倉吉市で採集。ゆらぎあ, No. 32, pp. 79-80. /倉吉市下余戸西郷小学校からのクロコノマチョウ(2014.9.3と9.5)に各1個体。[鳥取]
- 松井悠樹(2014)鳥取県東部で採集した蛾類III。ゆらぎあ, No. 32, pp. 30-46. /鳥取市若葉台周辺を中心とした鳥取県東部からの293種のガの記録。シャチホコガ科, ドクガ科, ヒトリガ科, コブガ科, アツバモドキ科とヤガ科の一部。特筆すべき種として, ネズミホソバ, アカオビリング, キシタアツバ(環境省レッドリスト準絶滅危惧), カギモンハナオイアツバ(環境省レッドリスト準絶滅危惧), ヤクシマコブヒゲアツバ, ヒメシロシタバ(環境省レッドリスト準絶滅危惧), コシロシタバ(環境省レッドリスト準絶滅危惧)があげられている。[鳥取]
- 松野 宏(2014)シルビアシジミとクロバ。すかしば, No. 61, pp. 21-23. /ミヤコグサが食草といわれているシルビアシジミのシロツメクサで発生したと考えられる鳥取市古市袋川河川敷での記録(1967.9.11, 2♂の写真あり)。[鳥取]
- 三島秀夫(2014)隠岐・島後でシルビアシジミを採集。すかしば, No. 61, p. 16. /隠岐島後でのシルビアシジミの記

- 録(2013.5.30, 1♀)。^[島根]
- 三島昭一(2014)春, 島根半島から丹後半島へ移動したアサギマダラ。すかしば, No. 61, pp. 30-31 / 2013. 6. 2に出雲市でマーキングしたアサギマダラが6.10に京都府京丹後市で再捕獲。^[島根]
- 中 秀司(2014)オナガミズアオは鳥取県東部・中部に多産する一幼虫採集が容易なオナガミズアオ。ゆらぎあ, No. 32, pp. 63-64。 / 鳥取県では西部に記録がかたよっていたオナガミズアオが鳥取県中部・東部にもふつうにいるという報告。オオバヤシャブシで卵・若齢幼虫が多く見つかるということ。鳥取市と湯梨浜町の記録を掲載。^[鳥取]
- 中 秀司(2014)鳥取大学構内でキョウチクトウスズメの幼虫を多数採集。ゆらぎあ, No. 32, pp. 76-77。 / 南方系のキョウチクトウスズメの幼虫の鳥取大学構内のキョウチクトウからの記録。台風による迷ガからの一時的発生とみられるとか。^[鳥取]
- 中 秀司・窪田蒼起(2014)鳥取県八頭町でニジキオビベニアツバを複数個体採集。ゆらぎあ, No. 32, p. 76。 / 南方系種で本州で分布が東進しているというニジキオビベニアツバの八頭町徳丸からの記録(2014.9.24)。^[鳥取]
- 中井博喜(2014)2013年米子市のクロマダラソテツシジミ。すかしば, No. 61, p. 8。 / 米子市でのクロマダラソテツシジミの2013年の記録。^[鳥取]
- 中野浩史(2014)鳥取県浜田市弥栄町程原でスミナガシを確認。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 152。 / 浜田市弥栄町程原(2011.8.4)。^[島根]
- 法本智明(2014)モンキアゲハの斑紋異常型を採集。ゆらぎあ, No. 32, pp. 77-78。 / 米子市淀江町から後翅白斑の欠けたモンキアゲハ(2002.8.10) ^[鳥取]
- 野津幸夫・田村昭夫(2014)大山で60年ぶりに発見したキバネセセリ。ゆらぎあ, No. 32, pp. 1-4。 / 鳥取県大山でながら記録がなくキバネセセリの報告。詳細な地点名は記されていないが採集日は2014.8.2(1♂)。^[鳥取]
- 能美 豪(2014)2013年の採集記録。一ギフチョウの斑紋異常, ゴマシジミの異常型, シルビアシジミの異常型, フジキオビ。すかしば, No. 61, pp. 32-33。 / 鳥取県と島根県の記録が中心。^[鳥取・島根]
- 大庭奉明(2014)ウラナミアカシジミ, ゴマシジミ, ウラギンヒョウモンの異常型を採集。すかしば, No. 61, pp. 32-33。 / ウラギンヒョウモンは鳥取県大山横手道(2013.7.9)。^[鳥取]
- 岡 義人(2014)出雲市のクロマダラソテツシジミ。すかしば, No. 61, p. 34。 / 出雲市でのクロマダラソテツシジミの2013年における記録。^[島根]
- 坂田国嗣(2014)真っ黒なウスバアゲハ撮影。すかしば, No. 61, p. 29。 / 三瓶山北ノ原(2013.6.11)でのウスバアゲハの黒化個体の記録。^[島根]
- 坂田国嗣(2014)呑谷にてフジキオビを撮影。すかしば, No. 61, p. 29。 / 奥出雲町呑谷でのフジキオビ(2013.6.11)の記録。^[島根]
- 坂田国嗣(2014)2013年度蝶観察記録。すかしば, No. 61, pp. 17-20。 / 65種の2013年のチョウの記録。鳥取県, 鳥取県, 岡山県のものが中心。^[鳥取・島根]
- 佐々木英之(2014)鳥取県西部で発生したクロマダラソテツシジミの知見。ゆらぎあ, No. 32, pp. 61-62。 / 2013年10月から12月にかけて境港市と米子市で発生したクロマダラソテツシジミに2つの季節型と移行タイプがあるということ。^[鳥取]
- 佐々木英之(2014)伯耆大山でウラギンスジヒョウモンを目撃。ゆらぎあ, No. 32, p. 77。 / 伯耆町榊水高原からウラギンスジヒョウモン(2013.9.22)の写真記録。^[鳥取]
- 田村昭夫(2014)コミスジを10月に採集。ゆらぎあ, No. 32, p. 79。 / 2014.10.21採集のコミスジ(倉吉市宮川町)。^[鳥取]
- 田村昭夫(2014)ジャコウアゲハ雌雄モザイクを採集。ゆらぎあ, No. 32, p. 79。 / ジャコウアゲハの雌の翅の一部に雄の形質が発現した雌雄モザイク(倉吉市宮川町, 2014.9.17)。^[鳥取]
- 田中宏卓・山根大河・山口勇人(2014)久松山(鳥取市)とその周辺地域における2012年のチョウ類の記録。山陰自然史研究, No. 10, pp. 1-5。 / 2012年に久松山でおこなったチョウ相調査の結果。64種を記録。鳥取県のレッドリスト掲載種6種(ギフチョウ, キマダラルリツバメ, オオムラサキ, ホシミスジ, ヒサマツミドリシジミ, ウラジロミドリシジミ)が含まれる。^[鳥取]
- 矢野重明(2014)鳥取県西部産蛾類資料[6], ゆらぎあ, No. 32, pp. 19-30。 / 鳥取県西部からのヤガ科270種の記録。ミヤマハガタヨトウ, クロビロードヨトウの記録含む。^[鳥取]
- 淀江賢一郎(2014)雲南市でカラスシジミ採集される。すかしば, No. 61, p. 24。 / 雲南市木次町平田尾原ダムでおこなわれた環境調査で見つかったカラスシジミ♂の記録(2013.6.28)。他に, オオミドリシジミ, ウラジロミドリシジミ, ウスイロオナガシジミが採集されている。^[島根]
- 淀江賢一郎(2014)鳥取県で初めてのクロマダラソテツシジミを採集。一あわせて2013年の鳥取県の派生状況も一。すかしば, No. 61, pp. 1-7。 / 鳥取県初記録となるクロマダラソテツシジミの境港市外江町補岩寺近く2013.10.2(2♂1♀, 2終齢幼虫)での記録。鳥取県側でのこれまでの記録のレビューもある。^[鳥取・島根]
- 淀江賢一郎(編)(2014)中村泰士博士蝶類コレクション目録。中村裕子(益田市匹見町), 118 pp。 / 鳥取県匹見町

の医師中村泰士博士(1920-2009)のチョウのコレクション目録。同氏がすかしばや広島虫の会会報に残した数年の論考も再録。記録は標本ラベルからの採録で、地名が市町村名止まりとなっているものが多いのが残念だが、島根県や鳥取県の生息記録が多量にある。[鳥取・島根]

【クモガタ類】

林 成多・野嶋宏一・片岡大輔(2014)島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園におけるクモ類生息調査(2013年)。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 129-134. / 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園での2013年の調査による真正クモ類14科28種(5種が当地から新記録)の報告。当地で記録された全種272種のリストも掲載。[島根]

林 成多・野嶋宏一・片岡大輔(2014)島根県出雲市園町穴道湖グリーンパークにおけるクモ類生息調査(2012年)。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 1-13. / 出雲市園町穴道湖グリーンパークでの2012年のクモ調査で26科129種を記録。うち、13種は島根県内初記録。[島根]

Kumekawa, Y., Ito, K., Tsurusaki, N., Hayakawa, H., Ohga, K., Yokoyama, J., Tebayashi, S., Arakawa, R., & Fukuda, T. (2014) Phylogeography of the laniatorid harvestman *Pseudobiantes japonicus* and its allied species (Arachnida: Opiliones: Laniatores: Epedanidae). *Annals of Entomological Society of America*, 107 (4): 756-772. / ニホンアカザトウムシ(カマアカザトウムシ科)の系統地理学的研究。鳥取県内の材料も使用されている。COI遺伝子では本種は4つの地理的に異所的または側所的集団に分けられた。鳥取・島根は九州北部から中国地方+近畿北部+四国西部に分布するクレードBの分布域内にある。[鳥取]

野津幸夫(2014)カトウツケオグモを島根半島枕木山麓で撮影。ゆらぎあ, No. 32, pp. 49-60. / 松江市野原町でのカトウツケオグモの記録(1♀, 2014.9.27)。なお、本種は島根県のレッドリストに掲載種となっているが、もともと採集記録の少ないいわゆる珍品に属するクモであり、レッドリストに掲載すべき種ではない(個体数の増減が判断できない)。レッドデータブックはただの珍奇種のリストであってはならない。この点で島根県のレッドリストに載っているキジロオヒキグモ(これももともと珍しい種)なども同様である。(NT) [島根]

Suguro, T. (2014) Japanese spiders of the genus *Chinattus* (Araneae: Salticidae). *Acta Arachnologica*, 63: 7-14. / シロスジカノコハエトリ *Chinattus ogatai* Suguro 2014

の検討標本に鳥取県産が含まれる: 米子市榎原, 西伯町原。[鳥取]

Tsurusaki, N. & Kawato, S. (2014) Highly conserved karyotypes of *Systemocentrus japonicus* and *Paraumbogrella pumilio* (Opiliones: Sclerosomatidae: Gagrellinae) supporting their close relationship. *Acta Arachnologica*, 63: 15-21. / ゴホンヤリザトウムシとフタコブザトウムシの核型報告。材料に鳥取県産標本が含まれる(前者は氷ノ山, 後者は千代川河川敷)。[鳥取]

【甲殻類】

林 成多(2014)オオヒメグモの巣に捕獲されたクロベンケイガニの観察例。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 29-31. / 2014年8月20日, 出雲市園町穴道湖グリーンパーク内の建物周辺での観察例。[島根]

林 成多・桑原友春(2014)ホシザキグリーン財団研究報告に掲載された十脚甲殻類に関する原書論文・短報の目録。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 39-42. / 島根県, 山口県関係が多いが一部鳥取県に関係するものも含まれる。[鳥取・島根]

林 成多・桑原友春(2014)島根県と鳥取県の海岸で採集したカニ類の記録。ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 33-37. / 島根県15地点, 鳥取県2地点での2013-2014年のカニの調査記録の結果。ケフサイソガニとタカノケフサイソガニの分布図つき。[鳥取・島根]

平山琢郎・久保誠一・梅村嘉雄(2014)江の川水系の底生動物—特に貝類とエビ・カニ類について。比婆科学, No. 248, pp. 15-29. / 島根・広島両県の江川水系の貝類4科6種・エビ・カニ類5科7種の記録。採集個体のカラー写真つき。[島根]

唐沢重考・川野敬介(2014)島根県の陸生等脚類。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 19-54. / 島根県産陸生等脚類として10科29種を記録。4種(ナガワラジムシ, ノトチョウチンワラジムシ, *Littorophilosoma lineata* Kwon, Lee and Jeon 1993, マダラサトワラジムシ, *Mongoloniscus koreanus* Verhoeff 1930, は島根県新記録(2番目の種は日本新記録)。ニホンヒメフナムシ(大田市三瓶町が分布西限)とチョウセンヒメフナムシ(大田市三瓶町より西に分布)は大田市三瓶町で分布が交替, とあるが分布図を見ると, そのように言うには, まだプロット数が少なすぎるように見える。[島根]

桑原友春(2014)島根県の中海でケブカエンコウガニとマルバガニを確認。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 318. / ケブカエンコウガニは島根県沿岸から新

記録。[島根]

- 桑原友春(2014) 島根県沿岸に生息するカニ類. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 43-59. / 島根県沿岸57地点から18種のカニの生息記録のまとめ。[島根]
- 桑原友春(2014) 島根県中海におけるチチュウカイミドリガニの記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 23-27. / 島根県のみならず日本海沿岸初記録の外来種チチュウカイミドリガニ(ワタリガニ科)の記録。中海にて2011年5月。[島根]
- 桑原友春・林 成多(2014) 島根県と鳥取県におけるタイワンヒライソモドキの記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 7-12. / タイワンヒライソモドキを隠岐を含む島根県沿岸と鳥取県西部で確認。鳥取県では新記録。[島根・鳥取]
- 桑原友春・林 成多(2014) 島根県におけるカワスナガニの記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 1-5. / 2新産地を含む3河川でカワスナガニを記録。[島根]
- 桑原友春・林 成多(2014) 島根県におけるマメアカイソガニの記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 13-18. / 日本海沿岸で初めてのマメアカイソガニの記録。隠岐諸島を含む6カ所で確認された。[島根]
- 大沢正幸・桑原友春・倉田健悟(2014) 島根県沿岸からのハルマンズナモグリの記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 13, pp. 19-22. / 島根県新記録のハルマンズナモグリの記録。本州の日本海沿岸から初めて。松江市島根町加賀桂島2014年6月21日。[島根]
- 大澤正幸・桑原友春・倉田健悟(2014) 島根県沿岸のスナモグリ類およびアナジャコ類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 197-206. / 島根県内での最近の採集調査により, 日本スナモグリ, スナモグリ, ヨコヤマアナジャコの生息を確認。それぞれの種について詳細な形態・生活史・生態が記述されている。同定にやくだつ写真・図・記述も含まれる。[島根]
- 大澤正幸・桑原友春・吉田隆太・倉田健悟(2014) 島根県沿岸の異尾甲殻類. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 207-236. / 島根県で最近採集された個体に基づき, 37種のヤドカリ類を報告。24種は島根県新記録。カラー写真と詳細な解説がある。[島根]
- 辻井要介(2014) 島根県出雲市の湧水環境に生息するトゲナシヌマエビとミナミテナガエビ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 322. / トゲナシヌマエビとミナミテナガエビは島根県が日本海側の北限とされていたが, 前者は最近能登半島でも記録されているとのこと。[島根]

【軟体動物】

- 東方仁史(2014) 鳥取県東部の海岸におけるベンケイガイの打ち上げ状況について. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 73-79. / 縄文時代に貝輪として利用され, 鳥取市青谷上寺地遺跡でも弥生時代に属するその貝輪と未製品が見つまっているというベンケイガイ(タマガイ科)の鳥取県東部の海岸での打ち上げ状況の2011年度の記録。鳥取市気高町水尻海岸, 姉泊海岸, 岩美町東浜海岸で継続的に, また青谷町井出ヶ浜でもときおり採集された。2枚を合わせて紐をとおしいダコ漁の「タコツボ」として, 現在も利用されているという。[鳥取]
- 野津幸夫(2014) 鳥取県西部におけるヤマタカマイマイとフトキセルガイモドキの記録. 山陰自然史研究, No. 10, p. 33 / 大山と船通山のヤマタカマイマイ(環境省レッドリスト準絶滅危惧)とフトキセルガイモドキ(鳥取県レッドリスト準絶滅危惧)。[鳥取]
- 和田年史・徳田悠希・一澤 圭(2014) 鳥取県立博物館のダイオウイカ液浸展示標本. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 67-71. / 1988年4月16日に生きた状態で浦富海岸城原海岸で捕獲され鳥取県立博物館に保管されているダイオウイカ液浸展示標本の詳細な形態計測データ。[鳥取]
- 山川(矢敷) 彩子・今井秀行(2014) 日本の砂浜に生息するチョウセンハマグリ集団の遺伝的多様性と集団構造. 日本生物地理学会会報, No. 69, pp. 143-159. / チョウセンハマグリのアロザイム分析による遺伝的分化を調査。調査地に島根県益田市が含まれる。当地の集団は他の集団と有意に異なっていた。[島根]

【環形動物】

- Ohtaka, A. (2014) Profundal oligochaete faunas (Annelida, Clitellata) in Japanese lakes. *Zoosymposia*, 9: 24-35. / 1982-2010年の間に日本の50湖沼の深底帯からエクマンバージ採泥器で採集したイトミミズ類の種構成のレビュー。全部で5科38種が出現。湖山池からは10種が記録されている。湖山池での調査は2010年におこなわれたもの。本稿でふれているわけではないが, 2012年の湖山川水門開放により湖山池は塩分が一時期海水の1/3を超え, また塩分躍層が発達して湖底の環境は大きく変わった。2014年冬にエクマンバージ採泥器で採集したイトミミズを大高氏に見ていただいたところ3種(いずれも貧酸素環境によく出るもの)が含まれていたとのこと。(NT) [鳥取]
- 吉郷英範(2014) 庄原市立比和自然科学博物館収蔵のヒル

綱(環形動物門)の標本とその生態記録. 比婆科学, No. 248, pp. 31-44. / 庄原市立比和自然科学博物館収蔵のヒル綱80点標本から15種の記録。次の種に島根県の記録が含まれる: *Parabdella quadrioculata* (Moore, 1930) (和名なし) (出雲市平田町斐伊川水系平田船川), ウマビル (江津市松川町太田), チスイビル (江津市松川町太田)。[島根]

長澤和也・片平浩孝・新田理人 (2014) 島根・鳥取県産魚類の寄生虫目録(1924-2014年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, pp. 237-251. / 島根県と鳥取県の魚類の寄生虫の文献記録をレビュー。寄生虫は37種。[鳥取・島根]

長澤和也・新田理人 (2014) 島根県産ムギツクから得られたイカリムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 252. / 益田市白上町の高津川支流の白上川で採集されたムギツク(コイ科)からイカリムシの記録。[島根]

和田年史・長田信人・原口展子・宇野政美 (2014) 鳥取県東部の砂浜海岸サーフゾーンにおける魚類および海産無脊椎動物の出現記録. 鳥取県立博物館研究報告, No. 51, pp. 23-41. / 魚類の項にも掲載したが, 2008-2013年に鳥取県東部の砂浜海岸サーフゾーンでおこなった地引き網調査で確認された42科58種の魚類と35科49種の海産無脊椎動物の記録。[鳥取]

【その他の海産無脊椎動物】

桑原友春・山口勝秀 (2014) 島根県出雲市の河下港でタコクラゲを確認. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 17, p. 326. / 出雲市河下町河下港での2013.8.6の記録。2010年に鳥取, 2012年に山口でも出現しているとのこと。[鳥取・島根]

■鳥取・島根両県内をタイプ産地として報告された種

Ochthebius (s. str.) *hayashii* Jäch & Delgado, 2014 (ガムシ科): タイプ産地: 島根県出雲市坂浦町坂浦の岩礁海岸。